

令和元年度地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画		地域再生を図るために行う特別措置適用事業		重要業績評価指標 (KPI)				達成状況・評価	【参考】 総合戦略に おけるKPI
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値	目標 期間	実績値			
1	小江戸・栃木市の 新名物「とちぎ江戸料理」を活用した観光まちづくり再生計画 (H29～R元年度)	小江戸・栃木市の 新名物「とちぎ江戸料理」を活用した観光まちづくりと誘客促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・「とちぎ江戸料理」を本市の名物として市民に定着させ、国内外から観光客を誘致するために、各種事業を実施することで、本市での滞在時間や観光消費額を増加させる。 ・この事業により小江戸として観光まちづくりとの相乗効果により誘客促進を図るとともに、交流人口の増加を目指す。 	① 観光消費額	75 円増	R元年度	1,578円増	達成状況及び今後の取組方針	主要観光地及び観光施設観光客入込数5年後に年間380万人 外国人観光客宿泊者数5年間で1,600人増	
					225 円増	H29～R元	2,424円増			
				② 観光客入込数	100,000 人増	R元年度	605,233人減			
					450,000 人増	H29～R元	286,559人減			
				③ 外国人宿泊者数	300 人増	R元年度	530人減			
	900 人増	H29～R元	461人増							
			令和元年度取組							
			<ul style="list-style-type: none"> ・都内大手駅弁製造会社とコラボレーションし、栃木市ならではの駅弁「小江戸旅弁当」の開発を行い、JR、東武鉄道の都内主要駅で販売した。 ・食と観光を結びつけたガイドブック「とちぎ江戸料理ガイドブック」を発行した。 ・その他、各イベントにおいて出展し、江戸料理の試食・販売等のPR活動を行った。 	④						
				⑤						
2	Tochigi Edo style 歌麿の愛したまち「とちぎ」新たな魅力創造計画 (H29～R元年度)	Tochigi-Edo style 歌麿の愛したまち「とちぎ」新たな魅力創造プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵の街並みを活かしたタウンウエディングや喜多川歌麿の浮世絵を活かした浮世絵刷り体験など、本市の地域資源である江戸文化を五感で楽しめる事業を展開する。 ・この事業により、新たな魅力を創造するとともに、国内外に情報発信し、交流人口の増加及び新たな人の流れを創出する。 	① 観光客入込数	150,000 人増	R元年度	605,233人減	達成状況及び今後の取組方針	主要観光地及び観光施設観光客入込数5年後に年間380万人 外国人観光客宿泊者数5年間で1,600人増 UIJターン相談件数5年間で300件	
					600,000 人増	H29～R元	286,559人減			
				② 外国人観光客宿泊者数	100 人増	R元年度	530人減			
					275 人増	H29～R元	461人増			
				③ UIJターン相談件数	50 件	R元年度	29件			
	120 件	H29～R元	321件							
			令和元年度取組							
			<ul style="list-style-type: none"> ・古い建物(古民家等)を活用した宿泊施設の事業化について、関係者の意見を伺うため、「栃木市古民家等活用事業懇談会」を開催した。 ・市内在住の外国人等を対象に、外国人向け観光ボランティア育成講座を開催した。 	④						
				⑤						

令和元年度地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画		地域再生を図るために行う特別措置適用事業		重要業績評価指標 (KPI)				【参考】 総合戦略に おけるKPI
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値	目標 期間	実績値	達成状況・評価	
3	【広域連携(県及び県内全市町)】 ツール・ド・とちぎを核とした地方創生推進計画 (H29～R元年度)	【広域連携(県及び県内全市町)】 ツール・ド・とちぎを核とした地方創生推進事業	<p>・国内初の取組となる県内全域を舞台とした国際レース「ツール・ド・とちぎ」の継続的な開催を通じて、県と県内全市町が連携した「自転車によるまちづくり」を進め、一層の観光誘客、地域活性化につなげていく。</p> <p>令和元年度取組</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により第4回大会が中止となったため、大会当日のPRについては実施ができなかった。 ・大会開催前に県が作成したパンフレットや資料に、レースコース近辺から近い栃木市の見所などを掲載することで、一定のPRは実施できた。</p>	① 公営レンタサイクル利用者数	1,636 人増	R元年度	—	達成状況及び今後の取組方針	【栃木県総合戦略】 観光消費額5年後に5,150億円 外国人宿泊者数5年後に27.4万人
				② ツール・ド・とちぎ公式HP閲覧回数	3,828 人増	H29～R元	—		
				③ 外国人宿泊者数	10.93 万回増	R元年度	—		
					29.7 万回増	H29～R元	—		
				④ 観光消費額	24 千人増	R元年度	—		
	93 千人増	H29～R元	—						
4	栃木市観光魅力アップ計画 (R01～R03年度)	栃木市観光魅力アップ事業	<p>・観光を通じた地域の活性化を図るために、地域の関係者や観光関連事業者で構成される「栃木市観光まちづくり推進連絡会議」が中心となり、多くの観光資源の再発掘・磨き上げやそれらをつないだモデルルートの開発、戦略的な情報発信、また、各地域に設置された地域ワーキンググループを活用しながら、人材の発掘・育成を実施する。 ・観光を軸とした地域の幅広い関係者が連携し、魅力ある地域づくりを実践していくことが本市の目指す「観光まちづくり」に必要な不可欠であることから、連携を推進し国内外から観光客を誘致するために、各種事業を実施する。</p> <p>令和元年度取組</p> <p>・栃木市は多くの地域資源を有しており、これらの観光資源を一元管理し、利用者が観光資源を調べやすく、使いやすいことに加え、タビマエのオリジナルルートの作成やタビアトの画像投稿フォームなどの機能を搭載しており、「快適な観光」を手助けする栃木市観光資源データベース「蔵ナビ！」の構築した。 ・栃木市は浅草と日光の中間点であることから、鉄道を利用して訪れる観光客の動向やニーズを把握するための鉄道利用者の動態調査を実施した。</p>	① 観光資源データベースを利用して訪れた観光客数	0 人増	R元年度	0人増	達成状況及び今後の取組方針	主要観光地及び観光施設観光客入込数5年後に年間380万人 外国人観光客宿泊者数5年間で1,600人増
				② セミナー参加者数	15,000 人増	R01～R03	0人増		
					200 人増	R元年度	0人増		
				③ 観光客入込数	800 人増	R01～R03	0人増		
					30,000 人増	R元年度	217,000人減		
④ 観光消費額	90,000 人増	R01～R03	217,000人減						
	150 円増	R元年度	—						
	450 円増	R01～R03	—						

令和元年度地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画	地域再生を図るために行う特別措置適用事業		重要業績評価指標 (KPI)				達成状況・評価	【参考】 総合戦略に おけるKPI
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値	目標 期間	実績値		
5	栃木市渡良瀬遊水地ハートランド活動拠点化計画 (H28～R2年度)	栃木市渡良瀬遊水地シンボル施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・渡良瀬遊水地に隣接する本市の施設を活用し、遊水地ガイドやその指導者の育成拠点となる研修設備を整備するとともに、ヨシ紙や葦簣作成の技術を継承する人材育成・確保を行うために体験設備を整備する。 ・遊水地に関する資料を豊富に有する(一財)渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団と連携してガイド育成講座を実施し専門的な知識を備えた人材を育成する。 	① 渡良瀬遊水地における観光消費額	31,580 千円増	R元年度	38,651千円減	達成状況及び今後の取組方針	
					94,740 千円増	H28～R2	147,411千円減		
				② 渡良瀬遊水地の観光客入込数	20,000 人増	R元年度	24,478人減		
					60,000 人増	H28～R2	93,357人減		
				③ ヨシを使った製品の開発数	3 個	R元年度	1個		
	10 個	H28～R2	3個	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年東日本台風による出水と新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベントの中止や施設の休館等により、渡良瀬遊水地の観光客入込数が減少し、それに伴い観光消費額も減少となった。 ・H30年度に初めて開催した「ヨシ灯り展」に展示する作品を作るワークショップ実施のため、誰でも簡単に出来る「ミニヨシ灯り」作成キットを考案した。 ・今後も、ハートランド城でのヨシ細工づくり体験の利用促進により、遊水地産のヨシの新たな活用策を検討し、ヨシの有効活用と地場産業であるヨシズ製造技術を継承する人材育成に繋げていく。 					
令和元年度取組									
④									
⑤									
6	栃木市子どもの居場所づくり拠点整備計画 (H29～R3年度)	栃木市子どもの居場所づくり拠点整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「栃木市老人福祉センター 福寿園」を一部改修し、「要支援児童放課後応援事業」の実施拠点を整備し、要支援児童に対し生活習慣指導、簡単な学習指導等を行い、基本習慣を身に付けることで、健全な育成と自立を達成する。 ・要支援児童と施設利用者間での交流を図るイベント等を開催し、多世代の交流を推進する。 	① 要保護・要支援児童案件の終結数	3 件増	R元年度	19件増	達成状況及び今後の取組方針	
					14 件増	H29～R3	93件増		
				② 当該施設年間利用料収入額	100 千円増	R元年度	64千円増		
					650 千円増	H29～R3	22千円減		
				③					
令和元年度取組									
④									
⑤									
			<ul style="list-style-type: none"> ・要支援児童を受け入れ、児童への生活習慣の指導等を実施した。 						

転入者数5年間で1,000人増
年間観光客入込数5年後に617万人

合計特殊出生率5年後に1.43(H25全国・県平均)

令和元年度地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画		地域再生を図るために行う特別措置適用事業		重要業績評価指標 (KPI)				達成状況・評価	【参考】 総合戦略に おけるKPI
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値	目標 期間	実績値			
7	とちぎ山車会館 広場「蔵の街シナ ジーマルシェ」整 備による産業活 性化計画 (H30～R4年度)	とちぎ山車会館 広場「蔵の街シナ ジーマルシェ」整 備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「蔵の街シナジーマルシェ」を整備することにより、本市の各産業連携による相乗効果を発揮できる「市～マルシェ」を創設するとともに、市民や観光客の休憩スペース及びイベントスペースとして新たな活用を図る。 ・小屋掛けや倉庫を設置し、周辺の景観にも配慮した整備を行うことで、本市の観光資源のブラッシュアップと新たな魅力創造の一助とする。 	① 本事業による「蔵の街シナジーマルシェ」「各種イベント」稼働日数	60 日増	R元年度	34日増	達成状況及び今後の取組方針	転入者数5年間で 1,000人増 年間観光客入込数 5年後に617万人 主要観光地及び観 光施設観光客入込 数5年後に年間380 万人	
				② 市内事業所年間売上額	8 百万円増	R元年度	—			
					43 百万円増	H30～R4	—			
				③ 観光消費額	150 円増	R元年度	—			
					750 円増	H30～R4	—			
④										
⑤										
			<ul style="list-style-type: none"> ・農商工観光等の産業従事者が連携し、商品開発及びテストマーケティング等の実施を行うため、事業を進めたが台風第19号被害及び新型コロナウイルス感染症予防対策の影響により3回の開催のみとなってしまった。 							